

2019年3月期 第3四半期  
決算説明電話会議 質疑応答（サマリー）

日時：2019年2月8日（金） 16:30～17:30

説明者：取締役副社長 CFO 宮崎純一

■ 全社

**Q1：通期業績予想の営業利益 381 億円は据え置いたが、3Q（10-12月）実績ではかなり上ぶれている。通期計画に対する強弱感をセグメントごとに教えてほしい。**

**A1：**農薬と医薬品は、3Q への出荷の前倒しがありました。4Q（1-3月）はその反動で下ぶれますので、通期では予想並みで見込んでいます。化学品は4Qで大きく落ちる見通しです。機能性材料は現時点でどの程度下がるかわかりません。全体とすると、現時点では業績予想に達するかどうかよく読めないという状況です。3Qの上ぶれ分がどの程度残るか分かりません。

■ 化学品セグメント

**Q2：中国経済が減速し外部環境が悪化している。化学品におけるこの影響について教えてほしい。**

**A2：**中国の内需低迷により、12月頃から中国メーカー品が海外へ輸出されるようになり、テピックやメラミンといった主力製品の市況や販売数量が悪化しています。

■ 機能性材料セグメント

**Q3：サンエバーの IPS、VA の 3Q 売上高が予想比で上ぶれた背景を教えてほしい。特に IPS については地域別・ラビング IPS / 光 IPS 別に分けて状況を教えてほしい。**

**A3：**金額では光 IPS が一番大きく上ぶれました。ラビング IPS や VA も、光 IPS ほどではありませんが上ぶれています。光 IPS は中国・日本・台湾等で全般的に上ぶれています。ラビング IPS は、光 IPS へのシフトが続いており全体的には下げ基調にありますが、3Q ではモニターや低価格モバイル向けが好調で上ぶれました。VA は予想よりもシェアアップができたので上ぶれました。

**Q4：スマートフォン市場が厳しい中でも、サンエバーが 3Q で上ぶれとなった背景を説明してほしい。また外部環境の悪化を踏まえて今後の見通しを教えてほしい。**

**A4：**当社は単価の低いラビング IPS から単価の高い光 IPS へのシフトの恩恵を享受しており、3Q でもその強みが出ております。4Q は CPT の民事再生法申請という特殊要因もあり減速と見ています。CPT の生産停止は長期的には他メーカーが生産し吸収すると思われていますが、4Q ではこの悪影響が出ると見込んでいます。

**Q5：サンエバーのシェア動向について、特に VA やラビング IPS に関して教えてほしい。**

**A5：**VA はシェア拡大をめざして現在注力しています。ラビング IPS はモニターやパソコンで持っているシェアをキープしていきます。また一部、競合他社に入られたところも取り返すべく注力しています。

**Q6：半導体材料に関して、上期までと変わらず韓国向けの DRAM 等が好調だったのか、また 4Q 以降変化はないのか教えてほしい。**

**A6：**半導体については現時点で変調なく 4Q は計画通りの見通しです。スマホ減産等の影響は恐らく 2019 年度以降に出てくると見えています。

**Q7：EUV 下層膜について採用状況を教えてほしい。**

**A7：**現在 EUV 下層膜は 1 社に採用されております。

**Q8：オイル&ガス材料が 3Q に下ぶれた背景と今後の見通しについて教えてほしい。**

**A8：**背景の 1 つは原油価格が下落した点です。もう 1 つは、12 月決算前のため米国顧客側の経費予算がなくなってしまい、当社材料の採用が後ろ倒しになった点です。ただし、マーケットの反応は良好であり、1~3 月以降は戻ってくると見込んでいます。また原油価格が上昇すれば更に採用が進むとみています。

**Q9：機能性材料の固定費について、11 月業績予想と比べた 3Q 実績の動向と下期の見通しを教えてほしい。**

**A9：**機能性材料の固定費は 3Q で 2 億円上ぶれましたが、下期全体では予想並みで見込んでいます。3Q の上ぶれは 4Q からの前倒しで増えた分とみています。

#### ■農業化学品セグメント

**Q10：上期不調だったラウンドアップが、3Q で上ぶれた背景を教えてほしい。**

**A10：**上期ラウンドアップは国内の猛暑・台風といった異常気象を要因に下ぶれました。3Q ではそのような要因がなくなり、ラウンドアップ ML・AL 双方で少額上ぶれました。今後も心配はしておりません。

**Q11：フルララネルが 3Q で下ぶれた背景を教えてほしい。**

**A11：**フルララネルは 2Q に前倒しで出荷した分が少量あり、その分だけ少し 3Q は下ぶれました。出荷時期がずれたということです。

**Q12：フルララネルの来年度の伸び率のイメージを教えてください。**

**A12：**過去非常に高い伸び率で伸びてきましたので、在庫が積み上がっている可能性があります。中長期的には成長し続けると思いますが、来年度は今年度の成長レベルをキープするのは難しいと思います。

**Q13：ブラベクトプラス（猫向け内外部寄生虫薬）の販売地域拡大があれば教えてください。**

**A13：**ブラベクトプラスの販売地域は欧州中心で、最近は小国が加わったのみですので、売上高に対する影響は軽微と思います。

**Q14：グレーシア（新規殺虫剤）の3Q進捗を教えてください。**

**A14：**グレーシアは韓国で4Qから3Qへ前倒し出荷となり上ぶれました。4Qは反動で予想比では下ぶれると見えています。ただ、グレーシアの市場での評判は非常に良好です。

以上